

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 5 日(2023.4.5)

【公開番号】特開 2021-153688(P2021-153688A)
【公開日】令和 3 年 10 月 7 日(2021.10.7)
【年通号数】公開・登録公報 2021-048
【出願番号】特願 2020-54377(P2020-54377)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 28 日(2023.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第 1 表示態様と、第 1 表示態様よりも前記有利状態に制御され
る期待度が高い第 2 表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第 1 表示態様で実行される場合、第 1 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第 2 表示態様で実行される場合、第 2 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様
と、前記第 2 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態
様と、が異なり、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブルを構成する輝度データの総数と、前記第 2 表示
態様用輝度データテーブルを構成する輝度データの総数と、が共通である、遊技機。

30

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

50

演出実行手段と、
表示手段と、
複数の発光手段と、
前記発光手段の制御を行う発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、輝度データで構成された輝度データテーブルを用いて前記発光手
段を制御し、
前記演出実行手段は、カットイン演出を実行可能であり、
前記カットイン演出は、第 1 表示態様と、第 1 表示態様よりも前記有利状態に制御され
る期待度が高い第 2 表示態様と、を含み、
前記発光制御手段は、
前記カットイン演出が第 1 表示態様で実行される場合、第 1 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記カットイン演出が第 2 表示態様で実行される場合、第 2 表示態様用輝度データテ
ーブルを用いて前記発光手段を制御し、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態様
と、前記第 2 表示態様用輝度データテーブルが用いられ制御された前記発光手段の発光態
様と、が異なり、
前記第 1 表示態様用輝度データテーブルを構成する輝度データの総数と、前記第 2 表示
態様用輝度データテーブルを構成する輝度データの総数と、が共通である（図 1 2 8、図
2 3 1 ~ 図 2 4 8）。

10

20

30

40

50